

# 中期計画期間の取り組み

## 基本目標 Ⅰ 市民と行政との協働によるまちづくり

### 市民主体のまちづくりの推進…②④②⑤②⑦

市民と行政が協働してまちづくりを推進するため、まちづくりの基本的ルールを明記した名寄市自治基本条例について、市民の意識や社会情勢の変化の観点から見直しを行うとともに、広報紙を用いて条例の周知を行った。また、地域コミュニティの活性化を図ることを目的に、町内会や地域連絡協議会およびまちづくりに資する取り組みを行う個人・団体へ支援を行うことで、市民のまちづくりへの参画を促している。

一人でも多くの方へ情報を届けるべく、オープンデータとしても活用ができるマイ広報紙の利用を開始したことや、日本で8,900万人（2021年6月時点）が使用するメッセージアプリ「LINE」の市公式アカウントの開設、テレビで行政情報を取得できる地デジ広報の運用開始など、多様な媒体での情報発信を実施している。また、広聴においても市長が直接出向いて市民の皆さまの声を聴く市長訪問広聴事業を開始したほか、市公式LINEアカウントを開設したことにより、発信のみならず受信も可能なため、直接的な質問などにも対応している。

### 人権尊重と男女共同参画社会の形成…①⑥

法務大臣が委嘱する人権擁護委員の人材確保を行うとともに、相談窓口の紹介や人権意識の向上に向けた啓発活動を実施している。男女がそれぞれ個性や能力を発揮できる地域社会の形成に向け、第2次名寄市男女共同参画推進計画に基づき、セミナーなどの啓発活動や市の事務事業について、男女共同参画の視点での評価などを実施している。

### 情報化の推進…②⑨

情報システムのクラウド化により、システム機器（サーバ類）やソフトウェア類の安定的な稼働確保および機器の年次更新を実施している。あわせて、セキュリティ対策として、職員研修の充実やシステムの機能強化を実施している。

### 交流活動の推進…①⑤②②③①

姉妹都市の山形県鶴岡市、交流自治体の東京都杉並区、道内外のふるさと会との国内交流、姉妹都市のカナダ国カワーサレイクス市リンゼイ、友好都市のロシア連邦ドーリンスク市および台湾との国際交流など、市民団体等との連携・協力により交流を推進している。中期計画期間においては、杉並区やリンゼイとの各種周年事業をはじめ、各都市などとの交流を行う市民団体等と連携して、魅力あるまちづくりや地域活性化につながる取り組みを行うなど、交流活動の推進を図っている。

移住の実現につながるようお試し移住住宅など受入体制整備を行ったが、避暑地としてのシーズンステイの利用が多く、移住に繋がらない現状があった。移住後の生活がよりイメージできるよう、相談者のニーズに合わせ個別にカスタマイズする移住体験ツアー事業を新たに企画し、名寄市移住促進協議会の会員をはじめ、地域住民と連携しながら受入体制の整備を行った。

### 広域行政の推進…①⑤

北・北海道中央圏域定住自立圏の取り組みとして、新たに防災・通年雇用の促進の分野において、協定を締結し、定住自立圏共生ビジョンへの事業追加を行った。また、交流自治体である東京都杉並区との更なる連携として、30周年事業やツアーの開催など、新規連携事業を実施している。

### 健全な財政運営…②⑨

厳しい財政状況の中において、市税収入のより一層の確保と新型コロナウイルス感染防止に係る「新しい生活様式」に対応するため、スマートフォンアプリによりキャッシュレス決済とコンビニ収納を令和3年度より導入している。

## 効率的な行政運営…②⑥

指定管理期間の見直しについて、令和元年6月に関係条例の改正を行い、以降は指定管理期間が5年に満たない施設の指定管理期間を5年とし統一を図った。令和2年12月には「指定管理者制度に関する運用指針」を策定し、統一的なルールに基づき運用している。また、安全安心で利用しやすい庁舎づくりを目指し、「名寄市暮らしのガイド」の配布による分かりやすい庁舎案内を実施するとともに空調設備・網戸の設置による庁舎内環境整備を実施している。職員の研修事業では、コロナ禍でこれまでのような大人数での集合研修の実施が難しくなったため、受講者自身が受講日時を決定でき、リモートで研修を受けられるEラーニング研修を実施している。

総合計画・総合戦略の着実な推進を図るため、実施計画事業の行政評価を実施するとともに、ローリング協議による必要に応じた見直しを行い、計画の実効性を高めている。また、行政評価・ローリング・予算協議を一連の取り組みと捉え、進行管理を実施している。

## 基本目標 II 市民みんなが安心して健やかに暮らせるまちづくり

### 健康の保持増進…⑬⑰

令和2年3月から子育て世代包括支援センター事業を開始し、コロナ禍における面接機会の制限等もある中ではあったが、妊婦への2回の面接を実施している。また、新生児聴覚検査の助成を開始したことにより、新生児のほぼ全数への聴覚検査が行われ、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を実施している。

### 地域医療の充実…⑰

地域医療構想に基づく当該医療圏域における当院の役割である病床機能のうち、高度急性期および急性期医療の充実と新名寄市病院事業改革プランに基づき、計画的な病院運営を行うことで経営の効率化を図っている。また、地域医療の充実に欠くことのできない地域包括ケアシステムの構築および切れ目なく必要な医療を提供できる体制の整備と医療介護の連携をより推進していくため、地域医療連携室の体制強化を実施している。

### 子育て支援の推進…⑬

公立保育所の基本設計に着手したほか、3歳以上児の幼児教育・保育の無償化の開始、小学生の通院医療費の全額助成開始など、子育て支援の充実を図っている。また、子ども家庭総合支援拠点事業により、一人ひとりの子育てに寄り添った切れ目ない相談体制の充実を図っている。

### 地域福祉の推進…⑱

名寄市が策定する「地域福祉計画」と名寄市社会福祉協議会が計画する「地域福祉実践計画」の策定に向け、市と社協が市民アンケートや福祉懇談会を協働で実施し、公募の市民を委員に加えているそれぞれの計画策定部会を合同で開催することで、地域福祉の推進に向けた体制づくりと環境づくりの一役を担っている。

### 高齢者施策の推進…⑱

医療と介護のサービスが切れ目なく一体的に提供できるよう、データを相互活用することで、医療・介護などの支援関係者が随時連携できる「医療介護連携ICTシステム」を構築し、令和3年7月より本格運用を開始している。

### 障がい者福祉の推進…⑱

名寄市障がい者福祉計画、名寄市障がい者福祉実施計画に基づき、障がい福祉施策に取り組んできている。令和2年4月より基幹相談支援センターを開設し、障がい者の総合相談を実施、また、障がいがある人もない人も地域で安心して暮らすことができるよう「上川北部圏域地域生活支援拠点」の取り組みを広域的に実施している。

## 国民健康保険…⑰

生活習慣病の早期発見や重症化予防の取り組みなどの保健事業により、医療費の適正化と加入者の健康増進が図られ、安定的で持続可能な国保事業の運営を実施している。

# 基本目標 III 自然と調和した環境にやさしく快適で安全安心なまちづくり

## 環境との共生…①⑥③⑩

第3次名寄市地球温暖化防止実行計画により市の事務事業におけるCO2の削減に取り組んできており、計画基準年の平成28年度との対比による途中経過としては9.9%の削減となっている（令和2年度実績）。また、（一財）省エネルギーセンターによる省エネ診断などを活用した公共施設の省エネ化やイベントなどを活用した市民への省エネに関する啓発活動を継続的に実施している。

産業廃棄物最終処分場を有する企業等と市で公害防止協定を締結し、事業活動による公害の発生防止を図っている。また、特定建設作業等に対しては、騒音規制法および振動規制法に基づき、周辺的生活環境への配慮等の指導を行っている。

本市の上水道源として重要な役割を持つ名寄川について、名寄川本流と支流のペンケ川、サンル川およびパンケ川の定期的な水質分析調査により監視を行っている。

## 循環型社会の形成…⑦

3R運動を推進するため、再生資源回収事業や市民との協働による環境美化運動などに取り組むとともに、広報などを活用した啓発活動を実施している。また、資源ごみが埋め立てごみとして排出されている状況が少なくないことから、衛生施設事務組合による分別指導と連動し、問題提起型の広報や市民などへの指導の強化を進めている。

## 消防…②

（一社）全国消防機器協会の「住宅用火災警報器等の配布モデル事業」への応募を行い、住宅用火災警報器100個が配布されたため、名寄市町内会連合会、名寄市消防設備協会などと連携し、設置率の低い地域へ設置されたことで、設置率が向上した。また、消防活動体制の維持・充実を図るため、消防車両および消防サイレンの更新を実施している。

## 防災対策の充実…②

洪水ハザードマップの浸透と安全な避難行動に結びつけるため、生活空間である「まちなか」に避難方向などを示した看板を設置することと避難所および避難場所に看板の設置を実施している。

## 交通安全…③

交通事故の減少に向け、道路の白線補修や事故の危険性が高い箇所への看板等設置など交通環境の維持・改善に加え、関係機関・団体との連携による街頭啓発やパトライト作戦など、交通安全意識の普及・啓発活動を実施している。また、啓発活動には多くの市民の協力をいただけており、本年10月に死亡事故ゼロが1,000日を突破するなど、有効な取り組みとなっている。

## 生活安全…⑳㉔㉖

犯罪のない安全で安心して暮らせるまちを目指し、青色回転灯装備車によるパトロールなど従来の取り組みに加え、市内ハイヤー会社およびバス会社の協力もいただきながら、「子ども・女性110番の車」として、車両に常時ステッカーを掲示することにより、不審者発生時に助けを求められる環境づくりを実施している。また、空き家対策として、危険家屋等の解体を後押しする補助制度の創設や市による緊急応急措置のできる環境づくりを推進している。

## 消費生活の安定…⑳

消費トラブルや特殊詐欺などの消費者被害を未然に防止するため、消費生活セミナーや出前講座を行うとともに、広報紙やホームページによる情報発信や市内イベントでの啓発などを実施している。また、相談員の資質向上のため、国家資格を持つ相談員の確保など相談体制の充実に努めており、市民をはじめ、定住自立圏を構成する町村からの相談対応や講座の開催など、消費者の安全安心の確保を図っている。

## 住宅の整備…㉒

公営住宅を効率的に維持していくため、市営住宅設備の計画的修繕や風舞・緑丘第1・栄町55団地は居住性改修や長寿命化改修を実施している。また、北斗・新北斗・瑞生団地は、建替えや全面的改善により整備を計画的に進め、良好な住環境の向上を図っている。戸建て民間住宅は、住宅に関する適切な情報提供などとともに、住宅の耐震化を支援する耐震診断や耐震改修補助事業を実施している。

## 都市環境の整備…㉓㉔

まちづくりの理念を示している都市計画マスタープランの見直しや持続可能で利便性の高い都市構造の実現に向け、名寄市立地適正化計画を策定した。また、公園施設長寿命化計画に基づく計画的な公園遊具の更新を令和3年度で完了予定であり、リースも活用した防犯灯のLED化の推進や町内会等との協働による道路植樹帯への花苗定植等の景観整備を実施している。

## 上水道の整備…㉕

長期にわたり安定して給水するために、配水管の整備、老朽管の更新ならびに浄水・取水施設の改修等を計画的に実施し、あわせて、漏水調査を実施し有収率の向上に努めている。また、良質な水道水を維持するため、水源水質の調査や監視の強化、水源井戸の改修も継続して実施している。

## 下水道・個別排水の整備…㉖

老朽化していく下水道施設の対策として、下水道ストックマネジメント計画の策定と実施により、効率的な修繕・改築が図られ、施設の健全度が維持されている。また、個別排水処理施設整備事業との連携で、公共下水道区域内外の生活環境の保全を図っている。

## 道路の整備…㉗㉘

郊外幹線道路・都市計画道路の整備実施に向け、名寄市舗装個別施設計画の策定や市街地・郊外地の道路整備の路線選定において、優先順位を整理するための評価表を作成した。また、一次改築（舗装率向上）と二次改築（老朽化した道路の再整備）を同時に進めることで安全安心な道路整備を実施している。雪に強い除排雪体制を確立するため、交付金・補助金を活用しながら除雪機械更新を実施している。

## 地域公共交通…㉙㉚

子どもや学生、高齢者や自動車運転免許を所持しない方の通院や通学、買い物といった移動手段を確保するため、赤字バス路線の運行経費を補助することにより移動手段を確保してきている。また、名士バス風連御料線における、利用者が少ない区間（風連市街から風連日進区間）をデマンド化し、御料線デマンドバスを平成30年10月より運行しており、利用者が比較的多いとされた名寄市街から風連市街を風連線として運行を開始した。鉄道の利用促進対策としては、宗谷線フォトコンテスト、宗谷線ステーションカードの実施や主な利用者が名寄高校通学生である東風連駅を名寄高校前に移設・改名し、通学の利便性および名寄高校の魅力向上を図るため、整備を実施している。

# 基本目標 IV 地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまちづくり

## 農業・農村の振興…⑱

農業・農村の持続的な発展に向け、関係機関・団体と連携し取り組んできており、収益性の高い農業経営の確立に向け、基盤整備事業や哺育・育成センター整備による生産基盤の強化を図っている。また、持続可能な農業経営に向け、労働力不足への対策として短期的な雇用労働力の確保や新たに複数戸法人設立に向けた動きも生まれている。  
担い手の育成と確保に向けては、新規参入者へのサポート体制を強化し、相談・指導に取り組み営農改善を図っている。

## 森林保全と林業の振興…⑲

私有林の森林整備を実施するにあたり、公共補助金のほか、森林環境譲与税を充当し森林所有者の負担軽減を図っており、森林整備の各種の施業実績は総体的に増加している。  
市有林の皆伐については、令和3年度より20ha以上の計画としていたが1年前倒しで達成されており、今後も計画的に実施していく。

## 商業の振興…⑳

令和2年2月、中小企業振興審議会に名寄市商工業振興基本計画（仮称）の策定を諮問し、令和3年6月、名寄市はばたく中小企業基本計画（案）の答申を受けると同時に、条例化を強く希望するという付帯意見をいただいたことから、名寄市中小企業振興条例の全部改正（令和4年4月施行予定）に向けた手続きを進めている。あわせて、条例に基づく支援メニューを事業者のニーズに応える使い勝手の良い制度となるよう見直しを行っている。（令和4年4月施行予定）

## 工業の振興…㉑

名寄市中小企業振興条例の全部改正の議論にあわせて、企業立地促進条例を時代のニーズに対応した制度になるよう見直しを行っている。また、地域未来投資促進法に基づく基本計画や中小企業等経営強化法に基づく導入促進基本計画を適宜変更し、地域の特性を活かして、高い付加価値を創出する地域の中核企業を集中的に支援するとともに、中小企業者の労働生産性向上に資する設備投資を後押ししている。

## 雇用の安定…㉒㉓

人材育成・確保について、事業所が負担した従業員の資格取得に必要な研修・教育機関での受講料等を補助するとともに、若年層の持続的な雇用の確保が重要と認識し、関係機関と連携のうえ、名寄商工会議所に対して、新規学卒者の積極的な求人や円滑な採用を求める要請行動を行ってきた。また、王子マテリア株式会社名寄工場の生産品集約に係る雇用対策として、市・名寄商工会議所・風連商工会に総合的な相談窓口を設置し、地元での再就職を希望する方への支援を実施している。

## 観光の振興…㉔

名寄市観光振興計画に基づき、市民の満足度向上、地域の情報発信などに取り組んだほか、近隣市町村と連携して広域観光を推進してきたとともに、インバウンド受入体制の整備を進めてきた。また、Nスポーツコミッションと連携し、スポーツツーリズム商品の開発・販売やスポーツ合宿・大会の誘致など、冬季スポーツ拠点化プロジェクトの推進を図っている。  
なよろ温泉サンピラーについては、市内唯一の温浴施設であり市民の皆さまの憩いや健康増進に必要不可欠な施設であることをふまえ、平成30年度に実施した基本設計を基に、温浴施設を先行的に改修するため、令和3年度に実施設計を進めている。

# 基本目標 V 生きる力と豊かな文化を育むまちづくり

## 幼児教育の充実…⑬⑭

子ども・子育て支援新制度に基づく施設運営に対して支援を図っている。また、幼児教育・保育の無償化に伴う給付認定制度の改正を行い、これに基づく給付を実施している。

## 小中学校教育の充実…⑭⑲

学校力向上を図るため、市内小中学校の連携の促進やGIGAスクール構想による児童生徒への1人1台端末を導入した。  
一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援を行うため、特別支援教育支援員の増員や3中学校に配置している心の教室相談員を小学校との連携を図るため、相談業務時間を拡充した。  
地域とともにある学校づくりとして、全小中学校にコミュニティ・スクールを導入した。  
市内小中学校改築事業では、智恵文義務教育学校の開校に向け整備を実施している。

## 高等学校教育の充実…⑭

高校生の資格取得に対する支援などを行うとともに、高等学校の再編にあたっては、各関係機関と連携を図りながら、魅力ある高校づくりに向けた取り組みを進めている。

## 大学教育の充実…⑭

既存施設は、築年数が経過し施設内の老化が激しく暖房設備の改修が必要だったため、令和元年度に3号館南温水配管工事を行った。また、障がい者差別解消法の施行により障がい学生支援のための体制整備が求められ、学内の学生支援ワーキングで作成された対応要領をもとに、前期計画期間から施設のバリアフリー化を計画的に進め、令和2年度には1号館1階東側自動ドア改修を実施している。

## 生涯学習社会の形成…⑫⑲

市民が積極的に学び、社会参加する環境づくりのため、公民館市民講座や高齢者大学・学級運営に取り組むとともに、公民館分館事業の支援を実施している。  
市立天文台では市内外への情報発信や交流事業を更に進めるため、様々なイベントや天文普及事業を行うとともに、インターネット配信を増やし、コロナ禍での新たな天文普及の在り方に取り組んでいる。  
市立図書館では市民の読書活動や学習活動に資するよう、幅広い資料整備やレファレンス対応、各種行事の開催に取り組むとともに、図書館だよりの発行や市ホームページ、SNSを活用した広報活動に努めている。

## 家庭教育の推進…⑭

家庭の孤立を防ぎ、親が自信を持って子育てができるよう、家庭教育学級を2つの幼稚園に設置し、それぞれが事業を進めるとともに、家庭教育学級合同研修会を開催し、親子の触れ合う機会づくりと学習・交流の場づくりを実施している。

## 生涯スポーツの振興…⑪

スポーツを通したまちづくりを担う官民協同の組織「Nスポーツコミッション」を設立し、冬季スポーツを中心とした大会・合宿誘致による地域経済の活性化やジュニア世代の育成・強化、市民の健康増進につながる取り組みなどを実施している。また、ジュニアオリンピックなどの全国・全道規模の競技大会誘致や大会への支援を実施するとともに、憲法記念ハーフマラソンなどのスポーツイベントの開催や支援を実施している。

## 青少年の健全育成…⑭

児童の放課後における安全安心な居場所づくりと子育てと就労の両立支援を図るため、各小学校区を中心に整備された放課後児童クラブの運営・支援を実施している。  
また、子ども会育成連合会や各実行委員会と連携しながら、都会っ子体験交流やへっちゃLAND、わくわく！体験交流会などを実施し、子どもたちの体験・交流機会の推進を図っている。

## 地域文化の継承と創造…⑫

文化芸術鑑賞機会の充実を図るとともに、文化施設を核として、市民が文化芸術に親しむため、なよろ舞台芸術劇場実行委員会を支援し様々なジャンルの鑑賞型事業を主催、市民が主役となり得る公演事業の共催やアウトリーチ事業を実施している。また、文化芸術活動への市民の参加・発表の機会を確保するため、市民文化祭・風連文化祭を開催し、文化芸術団体の活性化や文化活動の活発化を促進してきた。